

**3 学期には次の学年の準備を**

- 早め早めの準備が上の学校の成功のポイント -

開倫塾

塾長 林 明夫

**Q：年が改まり、2005年になりました。3 学期にやったほうが良いことは何だとお考えですか。**

A：(林明夫。以下省略) 4 月から現在通っている学校より上の学校に進学する人の場合は、とりあえず入学試験に合格するための勉強をすることです。眠っている時間以外のすべての時間を使い、全精力を傾けて行うのは、当然のことです。自分の未来は自分で切り開くのだという意気込みで、7～8 時間の睡眠時間以外のすべての時間を合格のための勉強に充てることが、希望校合格への唯一の方法です。迷うことなく一心不乱に、起きている間のすべての時間を合格のための勉強に充ててください。

ただし、受験生であろうと、1 日に7～8 時間の睡眠時間は必ず確保して下さい。睡眠時間が不足すると体調も狂うし、頭脳も活性化しません。睡眠時間を減らしていくら勉強しても、十分な学習効果は期待できないのです。

問題にしたいのは、試験が済んで進学する学校が確定した後、入学式までに何をするかということです。幸いにして第一希望の学校に合格できればそれに越したことはありませんが、どんなに勉強していても不合格になる場合もあります。ただ、第一希望の学校に進学できない場合でもほとんどの人が別の学校に合格を果たしているのですから、落ち込むことなく、結果を素直に受け入れて1 日も早く進学する学校を決定することが大事です。前述したように、最大の問題は、進学する学校が確定した後、入学式までに何をするかということだからです。

**Q：どういうことですか。一体、塾長は何が言いたいのですか。**

A：言いにくいことですが、第一希望校に合格を果たしたほとんどの人は、有頂天(うちょうてん)になって遊び呆(ほう)けたまま入学式を迎えます。一方、第一希望校に合格できなかった人は、がっかりして落ち込み、ふさぎ込んだまま入学式を迎えます。どちらにしても、ほとんど勉強らしい勉強をしないで入学式を迎える人が大部分です。

**Q：では、どうすべきだと思いますか。**

A：頭が最も冴(さ)え渡って、次から次へと新しいことが頭に入るのは、入学試験直後です。ですから、私がお勧めしたいのは、入学試験が終わった直後から、好きな科目だけでも良いですから、上の学校で勉強する内容を先へ先へとどんどん勉強することです。

具体的に言います。教科書が配付されるまでは、学校や開倫塾から与えられた教材をどんどん進めて終わらせてしまいます。3 月中旬に教科書が配付された直後からは、気に入った科目だけでも良いですから、数科目の予習を始め、入学式までにそれらの教科書のできれば半分、少なくとも3 分の1 くらいまでは終わらせてしまいます。そして、ゴールデンウィークが終わるまでには、何科目かの教科書をできれば一通り、少なくとも半分は読み終える、つまり勉強し終えてしまうことが、「成功の秘訣」です。

**Q：そんなことができるのですか。**

A：入学試験直後は頭が冴え渡っていますし、学校に行く必要もなく1日中時間が使えますので、いくらでも可能です。ゴールデンウィークが終わる頃までは、学校でもいろいろな行事があり、また、授業が早く終わる日も多いですから、自由になる時間は意外と多いのです。この時期を最大限に活用して、受験勉強中と同じくらい熱心に、ただし受験は終わっているので自由な気持ちで、好きな科目だけでも良いですから次の学年の勉強をすることが、「成功の秘訣」というわけです。分かりましたか。

**Q：入学試験後、ほとんど勉強しないで入学式を迎えると、どうなるのですか。**

A：遊び呆けたり、落ち込んでいたりすることは、全く勉強をしないということの意味します。つまり、学力の最高レベルは入試直後ですから、時間がたてばたつほど学力は低下、つまり落ちていきます。上の学校では、より難しい内容を勉強しますので、授業についていくことすら難しくなります。2学期以降はますます学習内容が難しくなりますので、「完全に落ちこぼれ」状態になることが多いといえます。上の学校に行けば行くほど自分で勉強することが求められるのに、それに反して勉強をほとんどしなければ、授業が分からなくなり、従って定期テストでさえ良い点がとれなくなってしまいます。これでは、何のために進学したのか分かりません。

これを避ける最も有効な方法は、繰り返し述べて恐縮ですが、入試直後から受験勉強中と同じくらいの熱心さで、入学式、さらにいえばゴールデンウィークが終わるまでに好きな科目だけでも良いですから一心不乱に教科書の予習を中心とした勉強をすることです。

**Q：推薦入試で合格が決まっている人は、どうしたら良いのですか。**

A：推薦入試で合格した人は、一般入試を経験した人ほどは厳しい勉強をしなかったと思われる。また、ほとんどの人が合格後も余り勉強していないと思われる。しかし、それでは受験勉強を通じて折角身に付けた学力が下がる一方です。もう中学校の勉強はしなくても良いのですから、一般入試を受ける人と同じくらいの熱心さで好きな科目から、高校の勉強をスタートして下さい。

開倫塾では全校舎で、県立高校入試終了直後から英語と数学について高校1年生の内容を指導します。高校1年生時の勉強が高校での学習を決定しますので、その講座に全員、1人残らず参加して真剣に取り組み、素晴らしい高校生活をスタートさせて下さい。

**Q：最後に一言どうぞ。**

A：日本の高校生は、ほとんど勉強しない人が51.4%、勉強しても30分くらいという人が9.4%、1時間ぐらゐの人は10.6%、1時間半の人は8.5%で、世界の高校生に比べ極端に勉強時間が少ないことが知られています。中学生より格段に難しい内容を勉強するはずの高校生なのに、学校外でする勉強時間が1時間半以下という人が8割を占め、2時間以上する人は2割しかいないということは、その人にとっても日本の教育にとっても大問題です。どうしたら良いか、皆様も是非お考え下さい。

開倫塾の全校舎で新年度から高一クラスをスタートするのは、少しでも高校生の学力不足問題の解決にお役に立ちたい、高校生の成功の実現に貢献したいと考えたからです。開倫塾の先生たちは精一杯指導いたしますので、皆様もついてきて下さい。